

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
 事務局:藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040

会長：柳原寿男 副会長：鈴木廣利
 幹事：宮川邦光 副幹事：松葉隆夫



CELEBRATE
ROTARY
100 Years

第1592回

<ソング> 我等の生業

<ソングリーダー>飯塚 秀彦君

2004-2005年度
RIテーマ

ロータリーを
祝おう
100年の歩み

グレンE.エステス・シニア



大井川鉄道のSL

[写真提供：青島 克郎君]

会長挨拶

柳原 寿男君

後継者の育成ということは、ロータリー活動にとっても大変重要な課題であり、インタークト、ローターアクト、RYLA等の、青少年や地元地域の若い人達を対象としたプロジェクトがあります。私共のクラブではインタークト以外は、残念ながら充分な活動をしていないのが現状です。

さて、後継者の育成に成功されて本日、鈴木晶一朗君が再入会されました。昭和61年に入会されましたが、業務多忙でやむ無く退会しました。その後、ご子息に家業を任せることが出来るようになり、村松徳君、竹田勲君の推薦で復帰されました。大変喜ばしいことです。

オリンピックで2ヶの金メダルを取って帰国した北島康介君21才を、マスコミが盛んに報道しています。同じ日のニュースで、21才の父親が1才の長男を殺害、生まれて間もない2番目の子供を妻の実家の庭に埋めたと報じていました。21才同士で、どうしてこうも違うのでしょうか。北島君が水泳を始めたのが小学3年頃とか。その後十数年の努力の結果です。一方の21才は無職です。

家庭環境でしょうか。しつけとか教育でしょうか。ロータリーも地域の青少年に、もっと関心を寄せる必要があります。どのような係り合いを持つか検討に値します。

9月の理事会で、次年度副会長並びに副幹事のご指名を指名委員会に委任することになりました。(先週の幹事報告)委員長望月晃君、委員栗原君、竹田君、松葉義君、渡辺君には、11月理事会に間

に合うようにお願い申し上げます。

幹事報告

宮川 邦光君

- ガバナー事務所よりRI各賞の申請案内が届いております。
 - ロータリー100周年記念星活動優秀賞
 - ポリオプラス賞
- 国際ロータリー事務局経理室から銀行支店名変更のお知らせが届いております。
- 藤枝市国際友好協会事務局からFIFSNEWS No 66号と20周年記念式典の案内が届いております。
- 藤枝市健康福祉大会のご案内が届いております。

日時 平成16年10月9日(土)午後1時

会場 藤枝市民会館ホール

出席報告

松葉 隆夫君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
30 / 42 71.43%	30 / 41 73.17%

(1)欠席者(事前連絡とメーキャップをどうぞ)

後藤君 酒向君 鈴木廣君 松葉隆君

水野君 村松宏君 望月志君 青島彰君

浅川君 板倉君 仲田晃君

(2)メーキャップ者

栗原毅君(焼津) 宮崎啓之進君(藤枝南)

鈴木廣利君(静岡中央)

入会式

鈴木晶一朗君が再入会されました。

委員会は広報・雑誌委員会です。



【鈴木晶一朗君】

会社名:(株)丸晶 (椎茸販売)

取締役 会長

現住所:藤枝市郡1001番地

生年月日:昭和2年2月18日

趣味:ゴルフ

外部卓話

大石 雅己様

<略歴>

現・ボーイスカウト

静岡県連 志太地

区協議会長

元・ボーイスカウト

静岡県連 志太地

区委員長



小学校からボーイスカウトとしてリーダー・指導者として活躍され、志太地区(藤枝市・焼津市・大井川町)の役員・静岡県の役員

次代をになう青少年の育成について最も重要な事は健康と教育である。これは企業においても社会にとっても基本となるべき重要項目だと思います。

教育には学校教育、家庭教育、社会教育があり、それぞれの立場で行われなければなりません。又教育とは知育、德育、体育の3つが上手くバランスしなければならないものだと言われております。

人間は誰も幼年期には純真で汚れを知らないものです。しかし、年数を経るに従って非社会的行為を行う人間が形成されて行くのです。これはなぜでしょうか?幼年期、少年期、青年期にわたる一貫した教育により、よき公人となる教育は無いのでしょうか?

ボーイスカウト運動は1907年イギリスの将軍ベーデン・パウエル卿が提唱した運動で、今や世界的な運動となっています。青少年の自発的活動である事。青少年が誠実、勇気、自信及び国際愛と人道主義を把握する事、そして社会に奉仕できる人格・健康・技能を形成する目的としています。そのための教育は幼年期から青年期にわたる各年齢層に適応するよう年齢に応じた部門があり、それぞれのプログラムが一貫しているのです。他の青少年団体と違う点は、「誓い」「おきて」の実践、班制度、進歩制度、野外活動を取り入れている所です。現在藤枝市内には四つの団がスカウト運動を展開しております。

我々は次代をになう青少年の育成について、口先だけで無く本当に真剣に考えなければならないのではないでしょうか?

(担当/青島克)